

平成29・30年度 北本市教育委員会委嘱

「学校4・3・2制（小中一貫教育）に関する研究」 研究紀要

研究主題

9年間の学びの連続性を重視した小中一貫教育の研究Ⅳ

— 「学校4・3・2制」における学習指導の工夫 —



平成30年11月21日（水）

かば桜学園

北本市立石戸小学校・北本市立栄小学校・北本市立西中学校



あいさつ

北本市教育委員会教育長 清水 隆

本年度は、市教委の委嘱研究2年目として『9年間の学びの連続性を重視した小中一貫教育の研究Ⅳ』を主題とし、「学力の向上」と「豊かな人間性」を育むことを学園3校共通の課題として捉え、これまでの実践を継続しつつ、研究を推進してこられました。具体的には、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるために、それぞれの発達の段階や地域の実態に即した工夫改善を図ってこられました。学校と地域が同じ価値観のもとで児童生徒を育てていくという教育の視点を重視し「学習指導の充実」に取り組まれたと伺っております。

義務教育9年間の学びの一貫性を基盤とし、常に児童生徒の活動を主体とする「かば桜学園」の研究は、本市が推進する学校4・3・2制の研究に資するものと考えております。今後も本市の教育活動のさらなる充実に向け、取り組んでいただけるよう願っております。

結びに、2年間にわたり、研究に取り組まれ、推進して下さった教職員の皆様、並びに御指導下さった指導者の皆様に心より感謝申し上げます、あいさつといたします。

あいさつ

北本市立石戸小学校 校長 石塚富美江

北本市立栄小学校 校長 安田 一也

北本市立西中学校 校長 西山 宏

「かば桜学園」3校で進める「学校4・3・2制」の研究実践も7年目を迎えます。この間、児童生徒や小中教員による交流、保護者・地域への広報等様々な取組を継続しつつ工夫・充実を図ることで、「中一ギャップの軽減」や「授業の基盤づくり」には一定の成果を認めています。それを踏まえ、平成29年度からの北本市教育委員会委嘱研究では、「9年間の学びの連続性を重視した小中一貫教育の研究Ⅳ～『学校4・3・2制』における学習指導の工夫～」を研究主題といたしました。新学習指導要領全面実施が目前となり、「確かな学力の定着」は3校共通の喫緊の課題でもあることから、学習指導に重点を置く研究を進めておるところです。継続実践に加え、各校学期1回の授業研究、研修会の合同開催により、「かば桜学園」全体として学習指導の充実には不可欠な「教員の指導力向上」「当事者意識の喚起」を目指すものです。しかしながら、実践は道半ばでございます。本日、研究の一端を発表させていただきますが、皆様には忌憚のない御意見・御指導を頂戴し、今後に生かしてまいりたく存じます。

結びに、本研究に際し関係各位より賜りました御指導に心より感謝申し上げます。